

葉の花

投稿用紙

会員参加型の会報誌を目指しています。
どのような記事でもかまいませんので、
お気軽に広報担当までお寄せください。
郵送でもFAXでも受け付けています。



千葉県訪問看護ステーション
連絡協議会 広報

葉の花

研修会&講演会
特集号

第15号

発行日:平成25年5月19日
発行所:千葉県訪問看護ステーション連絡協議会
発行責任者:会長 権平 くみ子

INDEX

- 会長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
千葉県訪問看護連絡協議会 会長 権平 くみ子
- 講演会&事例報告会 (H24.2.25) 1~2
- 講演会 <総会> (H24.5.19) 2
- 講演会 (H24.10.27) 3
- 関東甲信越ブロック会議 (H25.1.25) 3~4
- 講演会&事例報告会 (H25.3.2) 4~5
- 訪問看護師育成フォーラム (H25.3.16) 5~10
- 合同会議&新所長交流会 (H25.4.6) 10~12
- ホームページリニューアルのお知らせ 12
- 地区別ステーション紹介 13
- 吸引の現場でのヘルパー指導に関して 14
- 編集後記 14

ごあいさつ

やっと暖かくなったと思ったらすぐに夏ですね。気温の変化が激しいです。皆さま体調は崩していませんか。

さて、高齢化社会・多死社会で高齢夫婦世帯・高齢者単独世帯が増えています。認知症や癌の方も増えているのを訪問で感じていると思います。また訪問看護の必要性が重要視され期待も高まっています。

新聞等で孤独死・孤立死を目にします。二人暮らしで80歳の認知症の妻を84歳の夫が介護されている方が「うちと同じように母ちゃんを見ていた旦那が倒れたが母ちゃんが人を呼ばなくて、死んでからだいぶ経って見つかったよ。うちも心配だ」と話されました。ある意味では孤独死・孤立死なのかもしれません。在宅で看護を担当させてもらっている身として切なくなります。地域連携でこのようなケースをなるべくなくしたいと強く思います。

当会員はH25年4月で162ステーションとなりました。昨年より9ヶ所増えました。嬉しいことです。訪問看護の経験がないステーションもあります。当会で支えていきましょう。

今後ともよろしくお願いたします。



権平 くみ子

平成24年2月25日(土)

1) 講演会

「地域医療を支える立場から」看護の専門性と展望
株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション
代表取締役 所長 秋山 正子先生

訪問看護師の歴史を振り返り、高齢者社会のこれからを 今回の報酬改定や先生の活動や講演会の現場より体感したことを講演していただきました。

訪問看護の経験を活かしても、在宅医療を支援、医療機関等から在宅移行を充実させるためには、単体では難しいです。相手の立場を理解する努力と、力を合わせる事と、一緒に考える事と、訪問看護師だからこそ可能な利用者の生活を観る視点や工夫できる強みを医療主体の考えにプラスすることが、看取りの看護や個別の質の良いケアに・・・究極の看護では・・・

先年の東日本大震災3・11の教訓と深く考える機会であったように、力を合わせ人々のつながりが大切です。講演を聞きながら、暖かさや力強いエールを感じました。

記事：あさひ訪問看護ステーション 菅谷ゆかり



2) 事例報告会

「家族看護」「看取りの看護」をテーマにそって、7つの事例が報告されました。癌の終末期や神経難病にどう闘ったか、療養者の死の過程を支える家族への支援、訪問看護師だからこそできる看護などの症例発表のあとに、質疑応答の時間を設けました。具体的にどんな言葉かけをしたか、医療処置の工夫点等、各自日頃のケアに結びつけようと活発に意見交換をしました。ほとんどの訪問看護師は病棟での経験があると思われますが、在宅医療という生活を視て、家だから出来ること、家だから穏やかにその人らしく迎える最期に看護師としてどう関わるか、それぞれ学ぶことが多かったです。

コメンテーターに千葉県立保健医療大学、健康科学部看護学科の坂本明子講師をお招きし、一つ一つの症例に細やかにコメントをいただきました。また症例発表にとどまらず学会にも発表できるような研究発表にすることは、どうしたらいいかも教えていただきました。「看護を振り返り、自分のアプローチの中で何が良かったかを考える」が、症例をまとめるポイントだそうです。

記事：みなみはま訪問看護ステーション 高橋喜美

1. 亀田訪問看護ステーション勝浦 中内陽子 (夷隅、長生、市原)
終末期療養者の家族を支える訪問看護実践
2. せいれい訪問看護ステーション 三橋 匡美 (印旛、山武)
ALS 家族との関わりで学んだこと
3. さわやか訪問看護ステーション 安藤 仁子 (東葛南部)
療養者の死を受け入れられない家族への支援
4. 匝瑳市訪問看護ステーションつばきの里 英 香代子 (香取、海浜)
訪問看護師だからこそできる終末期看護
5. たんぽぽ訪問看護ステーション 杉田 洋子 (東葛北部)
「凜として死にたい」～緩和困難な呼吸困難患者の看取りを通じて～
6. カンナ訪問看護ステーション 柴崎 ゆかり (千葉地区)
終末期がん患者の在宅でのQOLの維持工場を支える訪問看護師の役割
～結腸がん自壊創のハウジングを通して考える～
7. 亀田訪問看護センター 山田 妙子 (安房、君津)
「患者・家族の希望に添った看取りケア」



平成24年5月19日(土)・総会

1) 講演会

在宅看取りを進めるために
予防から看取りまで訪問看護が果たす役割
(株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション 総括所長 秋山 正子先生

前回の研修後、もっと話を聞きたかったという要望が多かったため、秋山先生に講演を依頼しました。



2) 役員辞任



長い間、千葉県訪問看護ステーション連絡協議会役員として、ご尽力をいただいた、長谷川副会長ですが、退職となり役員を下りることになりました。ありがとうございました。感謝を込めて、当協議会として花束贈呈いたしました。まだまだ、現役で活躍中ですが孫の世話もしたいと、笑顔で答えてくれています。

平成24年10月27日(土)

講演会

在宅看取りを進めるために
あったか地域の大家族：富山式デイサービスの19年
このゆびと一まれ 副理事長 西村 和美先生



平成5年、富山県富山赤十字病院の看護師3人で立ち上げ、高齢者・子供・障害者がひとつ屋根の下で、自配りの利いた福祉サービスを行いたいという思いで、「このゆびと一まれ」を創業しています。病院でお年寄りを助けても、最後の場面で「家に帰りたい」「畳の上で死にたい」と泣いている場面、老人ホームで、まるで生きる気力をなくしているかのように、お年寄りが全く話もせず一日を過ごしている姿を見て、どこか違和感を感じていたそうです。
子供と一緒に笑ったり、怒ったり、歌を歌ったりすることがどんなりハビリよりも良いと思い、「赤ちゃんからお年寄りまで、障害があってもなくても一緒にケアする活動方式と行政の柔軟な補助金の出し方を併せて運営しています。具体的な写真提示があり、楽しい時間を過ごせました。

講演後、各ステーションにアンケートをとった結果を報告します。
26/40名からの回答となりました。

- ① 新事業希望 1名、現状のまま希望 17名
- ② 非常に面白かった 24名



<感想>

- 包括支援センターが家族全体を支援するというお話に大変共感した。今、どう戦っていくか思案中。
- お年寄りの、十子さんの笑顔がとても素敵でした。
- 普通に、当たり前前の生活というものがどういうことなのか、改めて感じる事ができた。
- 在宅医療について、深く考えさせられた。
- 訪問看護以外で、地域で新しい形で看取りの場作り等、何かできるのか考え中。
- 具体的に金額、運営状況など聞きたかった。
- 訪問看護での枠を超えることは難しいなと思うことがあります。人間味のある支援に感動しました。
- 他の研修と重なり、人数が集まらず残念でした。

平成25年1月25日(金)



都道府県訪問看護ステーション連絡協議会
関東甲信越ブロック会議

都道府県訪問看護ステーション連絡協議会
関東甲信越ブロック会議に参加して



都道府県訪問看護ステーション連絡協議会の関東甲信越ブロック会議が、平成25年1月25日(金)、群馬県安中市の磯部ガーデンにて開催されました。千葉県からは権平会長を始め3名の役員が参加しました。担当幹事の群馬県訪問看護ステーション連絡協議会の副会長、中里さんの司会で、会議が進行しました。8つの県からの参加があり、各県連絡協議会の活動状況の報告や、災害時における関東甲信越ブロックの連携について話し合いました。

連絡協議会は各県ごとに組織体制が異なり、会員数も350近い東京都のような大規模な地域から、100に満たない県までいろいろあります。千葉県は縦長に広い地域で、全県で集まるのは大変だと思っていましたが、新潟のようにもっと縦長の県、山岳地帯で山を越えると文化も異なる長野県など、地理的な困難はどの地域でもあるようです。しかし、どの県でも研修会を活発に開催したり、連絡協議会が情報発信したりするなど、積極的に活動している状況を知ることが出来ました。



また、東日本大震災の時に東北ブロックの連絡協議会が協力し合って物資の調達などを行ってきた事例から、関東甲信越地区ではどのような協力ができるかということの話し合いもありました。



会議で真剣に話し合った後は、懇親会です。おいしい料理をいただきながら(参加者の自腹です、念のため)、話に花が咲きました。各県のPRをしたり、趣味の話や聞いたり、仕事も活動的な所長さんたちですが、プライベートを充実させている方も多く、パワーをもらったひと時でした。

ブロック会は今後も毎年開催される予定になっており、関東甲信越地区の連絡協議会の絆を強めていきたいと思います。

平成25年3月2日(土)

1) 講演会

「経口移行に役立つ摂食・燕下りハビリテーションテクニック」
講師：藤田保健衛生大学病院看護部主任
摂食・燕下障害認定看護師 三鬼 達人先生



この研修会に参加できなかった方は残念です。具体的に、わかりやすく、とても楽しく、あっという間に過ぎてしまいました。高齢化により誤嚥性肺炎が多くなり、不慮の窒息による死亡も多くなる。燕下のメカニズムを知り、身体的な治療のみではなく、口腔ケア、予防対策を心がける必要があるとのことでした。具体的に病院での事例を紹介しながらの説明もありました。その後、利用者様で困っている事など、参加者から具体的な質問が多く出ました。

2) 事例報告会

今回の、事例検討会のテーマは、「認知・精神ケア」「燕下障害のケア」です。コメンテーターとして、今年は千葉県立保健医療大学 健康科学部看護学科 准教授 片倉 直子先生をお呼びし、貴重な意見を聞くことができました。



1. まくはり訪問看護ステーション 佐藤 直美 奥 恵子 (千葉)
在宅における認知症患者の看取り
～家族の揺れる思いに寄り添い後悔しない看取りに向けて～
2. 北柏訪問看護ステーション 岩澤 玲子 石原 昌子 (東葛北部)
認知機能が低下した夫婦を支援した症例
～わたしがやらなきゃ誰がやるの～
3. 市川市医師会訪問看護ステーション 四ツ谷 真由美 (東葛南部)
PEGと経口摂取を併用し、嚥下機能の回復だけでなくQOLの向上につながった事例
4. おみかわ訪問看護ステーション 大塚 和子 (香取・海西)
精神疾患を持つ利用者様への関わりを通して
5. 成田赤十字訪問看護ステーション 吉田 悦子 (印旛・山武)
認知機能低下のある家族の関わりについて
6. 辰巳訪問看護ステーション 尾崎 留美 (夷隅・長生・市原)
認知症の利用者を支える訪問看護実践
7. なのはな訪問看護ステーション 福嶋 智美 八木沢由美子 (安房・君津)
理解力・記名力低下のある利用者様の服薬指導を振り返って



事例検討会に関して、継続して欲しいという意見と、各地区部より一事例提供は、ステーション数も違い負担の差があるのではという意見などが出て、再検討の要望がありました。協議会としてもみなさんの意見を参照にして考えていきます。今後とも継続する予定ですので、よろしくお願いいたします。

平成25年3月16日(土)

看護協会主催で訪問看護師の育成フォーラムが開催され多くのステーションが参加しました。講演会前に、訪問看護ステーションの活動報告とポスター展示があり、4箇所のステーションがエントリーしていただきましたので報告します。

- ① まちのナースステーション八千代 (東葛南部：八千代市)
私たちのステーションは、八千代市のゆりのき通り沿いにあります。地域のみなさまの身近な暮らしの中に看護師・セラピストがいて、医療や福祉の相談が出来て語り合える・・・そんな気軽に立ち寄れるコミュニティスペースです。かかりつけ看護師として地域の皆様が健やかに笑顔で暮らしていくことをお手伝いできるよう、日々スタッフ一丸となってケアを行っています。



まちのナースステーションの特徴

1. かかりつけ看護師として、健康な時からいざという時までいつでも相談にお答えいたします。
2. ケアする人とされる人に優しい看護・リハビリを提供します。
3. 一人一人の想いを大切に、その願いを叶えるために真摯に取り組みます。

地域の行事に参加したり、ステーション内でのイベントを楽しく行ったりしています。

- 八千代どんと祭り(在宅介護相談・風船のプレゼント)
- リレーフォーライフ(利用者様のご家族と一緒に歩きました)
- バリアフリー映画上映会の企画
- グリーンカフェをOPENし、大切な人を亡くした地域のみなさまとのお茶会を、定期的に行っています。

勉強会を定期的に行っています。

月一回の定期的な勉強会と、年に数回外部講師を招いての勉強会を行い、よりケアを目指しています。

コミュニケーションスペースを併設しています。

地域の方々が気軽に訪れることができる様に、コミュニケーションスペースを併設しています。ここでは、血圧測定など簡単な健康チェックや、介護相談などができます。また、スタッフの子を時々預かる保育場所としても活用し、子育て中のスタッフでも働きやすい環境を整える努力をしています。

ホームページ：<http://machi-nurse.jp/>

- ② さつき台訪問看護ステーション (安房・君津：袖ヶ浦市)



私たち、さつき台訪問看護ステーションは、母体である袖ヶ浦さつき台病院の併設として、平成7年に開設し、袖ヶ浦さつき台病院の医師のほか、地域開業医の先生方の指示を受け、訪問看護を行っています。

袖ヶ浦市はもとより近隣4市(木更津・君津・富津・市原)を訪問範囲とし、自然あふれる田園風景の中、ご利用様がより良い在宅生活を送ることができるよう、日々活動しています。また、「選ばれる訪問看護ステーションを目指す」を理念に掲げ、地域貢献できるよう頑張っています。

<ステーションの特徴>

- 24時間対応体制を整え、ターミナル期、医療依存度の高い方等、幅広い疾患の方の訪問看護を行っています。
- 母体病院の特徴から、精神看護にも力を入れています。精神疾患と身体疾病の合併の方が安心してご自宅で生活できるよう支援しています。
- 地域の大きなニーズに応え、理学療法士を中心に訪問リハビリを行っています。
- 看護学生の臨床実習の場になっています。

<人材育成>

- 経験に応じた教育プログラムがあります。訪問看護の経験がない方でも安心。
- 看護協会訪問看護実践センター事業の新卒訪問看護育成プログラムの対象者1名が4月に入職。今年度はより一層、質・量共に充実するよう努力したいと思います。

<スタッフ人数>

保健師2名、常勤看護師4名(内訪問看護認定看護師2名)、非常勤看護師4名、母体病院兼務理学療法士5名、非常勤理学療法士1名、事務3名。(計19名)

- ③ リコーケアステーション (東葛南部：鎌ヶ谷市)



④ 看護協会ちば訪問看護ステーション（千葉市）

「立地・環境」

平成6年に開設し、19年目を迎えました。千葉市美浜区にあります。都心へのベッドタウンとして、埋め立て地に建てられた団地やマンションに住む方への訪問が多いです。幕張メッセなど大きなイベントホールがある海岸通りから、千葉市街・四街道方面への訪問が主です。近場を走る京葉線で20分の距離に東京ディズニーランドがあります。

スタッフ

- ・常勤看護師6名、非常勤看護師3名（うち緩和ケア認定看護師1名、ケアマネ資格保持者3名、新卒看護師2名）
- ・常勤ケアマネージャー1名、非常勤ケアマネージャー1名（両名とも看護師資格所持）
- ・常勤事務1名

利用者の特徴

- ・ALSやパーキンソン病などの難病、がん終末期等医療依存度の高い方
- ・脳血管障害、脊髄神経障害の後遺症でリハビリが必要な方
- ・認知症の方
- ・年齢層は小児から高齢者（0～99歳）

私、緩和ケア認定看護師 & 所長



私、ステーションの裏番長事務の甲斐です

公益社団法人
千葉県看護協会
ちば訪問看護ステーション

理念&モットー

疾病や障害を持った人が地域でその人らしく生活できるように質の高い訪問看護を提供します。
「目配り 👁️」「気配り 🌟」「心配り 🍀」を大事にしています。

ステーションの特徴

- ・居宅介護支援事業所併設で、ケアマネージャーが看護師資格を持っているため連携体制が整っています。
- ・緩和ケア認定看護師がいるため、安心した終末期ケアを提供できます。
- ・主治医・その他機関との連携を密にとっているため、緊急の際もスムーズに対応できます。
- ・長期に及ぶ療養生活を支援するために、日々のケアや研修を通して、疾患の理解と看護技術を習得しています。
- ・介護している家族の心のケアも行っています。
- ・学生実習（9校）や実地研修を多く引き受けており、共に学ぶ姿勢を大事にしています。
- ・平成24年度から新卒看護師が入職し、育成に力を入れています。（教育体制も充実しています）
- ・勤続10年以上から3年以下まで様々なキャリアのスタッフがそろい、多様な疾患に対応します。

人間関係が
いいよ！

経験豊富なお姉さん（おばさん）
そろってます

BBQ等の懇親会を
してるよ！

新卒看護師をサポートする実
践センターが近いのでいい！

研修施設が近く
図書館もあつち

夏休み、年休・公休
しっかりあつち☆

訪問は車です！
台数も充実しています！

「立地・環境」

平成6年に開設し、19年目を迎えました。千葉市美浜区にあります。都心へのベッドタウンとして、埋め立て地に建てられた団地やマンションに住む方への訪問が多いです。幕張メッセなど大きなイベントホールがある海岸通りから、千葉市街・四街道方面への訪問が主です。

「理念&モットー」

疾病や障害を持った人が地域でその人らしく生活できるように質の高い訪問看護を提供します。
「目配り 👁️」「気配り 🌟」「心配り 🍀」を大事にしています。

「ステーションの特徴」

- ・居宅介護支援事業所併設で、ケアマネージャーが看護師資格を持っているため連携体制が整っています。
- ・緩和ケア認定看護師がいるため、安心した終末期ケアを提供できます。
- ・主治医・その他機関との連携を密にとっているため、緊急の際もスムーズに対応できます。
- ・長期に及ぶ療養生活を支援するために、日々のケアや研修を通して、疾患の理解と看護技術を習得しています。
- ・介護している家族の心のケアも行っています。
- ・学生実習（9校）や実地研修を多く引き受けており、共に学ぶ姿勢を大事にしています。
- ・平成24年度から新卒看護師が入職し、育成に力を入れています。（教育体制も充実しています）
- ・勤続10年以上から3年以下まで様々なキャリアのスタッフがそろい、多様な疾患に対応します。
- ・常勤スタッフによる24時間連絡・訪問体制をとっています。



訪問看護実践センター事業

訪問看護師の育成フォーラム

～新卒看護師が訪問看護師として頑張っています～

千葉県看護協会では、「訪問看護への思いを実現させる」、「自分たちの後輩は自分たちで育てる」、「選んだ道で働き続けられる環境をつくる」ことを目指して平成24年度から『訪問看護実践センター事業』を開始しました。

その事業の1つである人材の育成の中で、新卒看護師を訪問看護ステーションが採用し、そのステーションと訪問看護実践センター（看護協会）が協働して1年間新卒訪問看護師を育てた成果の発表会でした。

新卒訪問看護師の立場で田中智美さんは、「訪問看護師になるという目的に向かって前進している。なりたいたい・なる気持ちを大事にして前に進んでください。」と次に続いてくれる仲間へエールを送りました。

続いて、現場の指導者（プリセプター）である豊田智生さん、もちろん訪問看護ステーション連絡協議会の権平会長（看護協会ちば訪問看護ステーション所長）も壇上に立ち、「はじめは無理だと思ったが、管理者として育てられることを信じて、ある時は遠くから、ある時は隣で、ある時は声をかけて……。育てられることを実感した。」と熱い報告でした。



千葉大学と協働で構築したプログラムは、就業したステーションでの同行訪問と実践センターからの研修等支援を繰り返して、安心して訪問看護師になる2年間の過程（経験のある看護師は必要な部分のみの研修）となっています。また、実践センターにおける看護技術支援は静脈注射、摘便、吸引等の人体模型も整備されており、病院における新人看護師より手厚い指導になっているのではないのでしょうか。

平成24年度は2名の新卒看護師でしたが、平成25年度は新卒看護師1名、潜在看護師4名がこのプログラムに沿って育成が継続されています。若い仲間たちが増えることに大きな期待をしています。頑張ってください。

平成24・25年度の千葉県看護協会の取組み

(1) 訪問看護実践センター事業

目的：在宅医療の中核を担う訪問看護を安定的に提供するために、人材の育成を図るとともに、訪問看護ステーションの周辺事務の効率化等に向けた基盤整備を行う。

① 人材の育成

目的：質の高い訪問看護師を育成する。

事業内容：○新卒看護師等を訪問看護師に育成
（プログラムの構築、就業ステーションへの支援等）
○現任訪問看護師のスキルアップ研修会の開催
○研修に必要な基盤整備（技術研修のための人材、電子図書等）

② 小規模訪問看護ステーションの支援

目的：ステーションの周辺事務の効率化等により、看護師が専門性を発揮し、働き続けられる環境づくりを行う。

事業内容：○周辺事務の効率化（訪問看護記録のIT化、モバイルPC等）

(2) 訪問看護

目的：在宅医療を進める上で不可欠となる訪問看護の普及啓発を図る。

事業内容：○訪問看護の相談支援
○訪問看護の普及啓発
○地域連携

「千葉県訪問看護ソフト」を活用してください！！

訪問看護実践センター事業における小規模訪問看護ステーションの支援では、訪問看護師が本来の看護業務に専念できるよう周辺事務の集約化・効率化を図るため、『千葉県版訪問看護ソフト』の開発を進めています。

このソフトは、県内の訪問看護ステーションの7割が紙媒体で記録をしている現状を踏まえ、訪問看護記録をIT化することにより、訪問先で記録ができ、さらにその記録データを活かしレセプト請求や各種書類の自動作成や実績データが集計できることを目指しています。

(1) 千葉県版訪問看護ソフトの内容

訪問看護記録（基本情報、日々の記録）、業務管理日誌等

(2) ソフトの特長

- ① 訪問看護記録を、iPadなどモバイル端末で入力できる。
- ② 訪問看護記録情報がレセプト請求と連動できる。
- ③ 訪問看護記録情報から計画書、報告書、看護サマリーが、一部自動作成できる。
- ④ 災害時の支援情報カードや安否確認表が自動作成できる。
- ⑤ 簡易的な経営評価ができる。
- ⑥ 利用者を中心とした多職種間で情報共有ができる。
- ⑦ 維持管理費が割安である。

(3) モデル事業参加への特典

モデル事業試用期間は平成25年9月から平成26年3月まで

<特典>

- ・iPadやパソコンなどを貸与する。
- ・使用ためのデモンストレーションはステーション毎に実施など。

なお、後日各ステーションへ通知する予定です。

問い合わせ先

（公社）千葉県看護協会事業第一課 電話 043-245-1712



今回の研修は、新卒訪問看護師の養成を開始し1年あまりが立ちました。新卒看護師の田中智美さんが新卒訪問看護師の立場から発表され、現場指導者の豊田 知生さんの発表に続きます。もちろん我が訪問看護連絡協議会の会長も壇上に立ちました。プログラムに沿い、講義、実習、同行訪問等を繰り返し、安心して独り立ちできることを目的として作られています。実技に関しては、静脈注射、摘便等、模擬の模型も購入されており、病院での新人より手厚い指導になっているのではないのでしょうか。昨年は新人看護師2名でしたが、25年度募集により新人看護師2名、潜在看護師3名の希望があり、カリキュラムに沿っての養成開始になります。頑張ってください。

小規模訪問看護ステーション支援事業に関しては、いきいきのソフト会社と協同で作業中です。看護記録の訪問先での入力、統計的な物、経営判断もできるようなソフトにしています。今現在使用しているソフトからの乗り換えや、入力作業も代行できるようにします。乞うご期待。

平成25年4月6日（土）

合同会議：新所長交流会

1) 合同会議（2回目）

普段会議の状況報告はありませんでしたが、総会に向けて、各地区部会長から活動報告、情報交換と次期会長・副会長の報告がありました。

各地区部会では、多くのステーションの方が参加できるように研修会や会議を工夫しながら開催していますが、顔ぶれが同じになってしまうとの報告がありました。これは毎年報告される内容です。今後も多くのステーションが参加できるよう検討していきます。地域連携として、ケアマネ等他職種との研修会も目立ち、顔の見える関係作りとして、訪問看護師だけではなく対象を広げた企画になっています。各地区部の研修会内容や講師等も、今後の研修会の参考にしたいと思えます。

また、各地区部で呼びたい講師がいてもコスト的に困難であれば、協議会として研修会を企画運営することも検討しますので、どうぞご相談ください。

2) 熟年の所長と新所長交流会

合同会の同日午後、所長就任3年未満の方と、先輩所長との交流会を開催しました。

午後から強風になるとのことでしたが、新所長11人、先輩として16人参加し、それぞれの質問に答えながら、先輩所長も勉強しながら再確認していきました。一部質問内容を提示します。

- ① ヘルパーのたん吸引に関し、他の事業所はどうしているのか。研修事業所との契約はどうしているのか。
→ これに関してはトラブルがある為、別項目で説明します。
- ② 技術的なものが伴わない。加算が取れるのかもわからない。
→ 「全国事業協会 Q&A」や「訪問看護業務の手引」参照しながら勉強しましょう。
- ③ 訪問看護計画書を毎月出さないといけないのか。指示書に沿って計画書提出となるため、最高6ヶ月となるが、患者の状況変化に伴い計画変更しなければならない。
→ 情報提供は毎月。出したり出さなかったりと混乱するため、同時に提供の方が良いと思う。
(評価、見直しもあるため。)



- ④ 訪問看護は初めて。教育は。
→ 「e-ランニング」など養成研修がある。「新卒の訪問看護師教育プログラム」あり。看護協会の実践センター事業を活用しては等の意見がありました。
- ⑤ 複数名訪問看護加算は、何ヶ所か利用している場合はどうとれるのか。
→ 誤解を招く返答になりましたので、修正し、参考資料として事業協会の資料を載せます。



*介護保険では、プランに位置づけられていれば、同一日でも2箇所以上の訪問看護ステーションからの訪問が算定可能です。

介護保険（訪問看護費）		
緊急時訪問看護加算	1箇所	
特別管理加算	1箇所	ただし、2箇所以上の事業所から訪問看護を提供する場合は、その配分は事業者相互の合意に委ねる
退院時共同指導加算	1箇所	2回算定が可能な利用者（*）に対しては2箇所
ターミナル加算	1箇所	
サービス提供体制加算		訪問看護ステーションごとに算定可能
初回加算		
夜間・早朝・深夜加算		
看護・介護職員連携強化加算		
特別地域訪問看護加算		
複数名による訪問看護加算		
長時間訪問看護加算		



*医療保険では、厚生労働大臣が定める疾病等の利用者の場合2箇所（週7日の訪問が計画されている場合は、3箇所）の訪問看護ステーションからの訪問が算定可能です。特別訪問看護指示期間中に週4日以上訪問計画されている場合は2箇所のステーションが算定可能。（いずれの場合も同一日は算定不可です）
医療保険（訪問看護療養費）

医療保険（訪問看護療養費）		
24時間対応体制加算	1箇所 *	
24時間連絡体制加算	1箇所 *	
特別管理加算	2箇所	
緊急訪問看護加算	2箇所	
長時間訪問看護加算	1箇所/週	異なる週であれば、それぞれのSTで算定可
夜間・早朝・深夜訪問加算	2箇所以上	
複数名訪問看護加算	1箇所/週	異なる週であれば、それぞれのSTで算定可（看護補助者に関しては、それぞれ算定可）
難病等複数回訪問加算	1箇所/週	異なる週であれば、それぞれのSTで算定可
乳児加算・幼児加算	2箇所以上	

退院時共同指導加算	1箇所	ただし、厚生労働大臣が定める疾病等の利用者に対して複数の訪問看護ステーションからの訪問した場合、一人の利用者に付き合計2回まで算定可
退院支援指導加算	1箇所	
在宅患者連携指導加算	1箇所	
在宅患者緊急時等カンファレンス加算	1箇所	厚生労働大臣が定める疾病等の利用者に対して複数の訪問看護ステーションが指導を行った場合は、合計2回まで算定可能。ただし同一日のカンファレンスに複数の訪問看護ステーションが参加した場合は一つの事業所のみ算定可能
特別地域訪問看護加算	2箇所以上	
訪問看護情報提供療養費	1箇所	
訪問看護ターミナル療養費	1箇所	

数多くの質疑応答で先輩看護師は、Q&Aの本を見ながら対応しました。購入をおすすめします。参考になったでしょうか。

千葉県訪問看護連絡協議会 ホームページリニューアル！！

平成25年4月から連絡協議会のホームページがリニューアルいたしました。

連絡協議会の紹介のほか、訪問看護を志す方へ向け、訪問看護師のやりがいや魅力について、また訪問看護を利用したい方への制度の紹介のページなどを作りました。

ステーション一覧のページでは、地図を表示できるようにしたり、より使いやすいものになったと思います（情報の見直しでは各ステーションの皆様にご協力いただきました。ありがとうございます）。

会員向けには、入退会の書式や、診療報酬の加算などで必要な書式、災害対策の安否確認票など、役立つ書式がダウンロードできるようになりました。

某巨大遊園地のホームページなどを参考に、写真やイラストを多く用いて、明るく楽しい雰囲気のパージになるように、作りこんだつもりです。

各地区での研修会の情報や、訪問看護の制度の情報などもタイムリーに更新していきたいと思っておりますので、是非ご覧になってください。トップページで「訪問看護チーバくん」がお待ちしています。



地区別ステーション紹介



東葛北部
東葛南部
印旛
千葉
香取・海匝
山武・長生・夷隅
市原
君津
安房

東葛北部地区は、県内で2番目に訪問看護ステーションが多い地区です。
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会会員に限りませんが、全35ステーションが活躍中です。

- ★大倉記念訪問看護ステーション
- ★初石訪問看護ステーション
- ★流山市訪問看護ステーション
- ★わかくさ訪問看護ステーション
- ★北松戸訪問看護ステーション
- ★北柏訪問看護ステーション
- ★はみんぐ訪問看護ステーション
- ★柏豊四季訪問看護ステーション
- ★訪問看護ステーションひまわり
- ★訪問看護ステーションふさ
- ★訪問看護ステーションほうむ
- ★さわやか訪問看護ステーション
- ★訪問看護サポテン訪問看護ステーション
- ★シルバーケア常盤平訪問看護ステーションけやき
- ★松戸なのはな 訪問看護ステーション
- ★元気訪問看護ステーション
- ★セントケア訪問看護ステーション松戸馬橋
- ★野田病院訪問看護ステーションこすもす

- ★新松戸ロイヤル訪問看護ステーション
- ★花いちもんめ訪問看護ステーション
- ★たんぽぽ訪問看護ステーション
- ★あい訪問看護ステーション
- ★みやこ台訪問看護ステーション
- ★南柏老人訪問看護ステーション
- ★こすもす訪問看護ステーション
- ★さくら訪問看護ステーション
- ★野田南部訪問看護ステーションひまわり
- ★常盤平訪問看護ステーション
- ★松戸市立東松戸訪問看護ステーション
- ★松戸神経内科訪問看護ステーション
- ★ハynes訪問看護ステーション
- ★スマイルリハ訪問看護ステーション松戸
- ★訪問看護ステーションけやきの木
- ★生活クラブ風の村訪問看護ステーション光ヶ丘
- ★訪問看護ステーションあおぞら

は事例報告会で発表されたステーションです。



吸引の現場でのヘルパー指導に関して

平成24年4月より「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部が改正され、介護福祉士および言っている研修を受けた介護職員等は、一定の条件の下に喀痰吸引・経管栄養を実施出来ることになりました。制度施行後、訪問看護ステーションとして、介護職員等との連携に混乱している状況と思います。

看護協会にて、痰吸引等の研修も継続しておりますが、民間での研修場所も増えてきています。第1・2号研修（施設系・非特定）3号（在宅系・特定）となり、場所はインターネットで検索出来ます。訪問看護としては、実践場所でのヘルパー教育の依頼となると思います。

情報提供として、研修場所により要綱が違い、契約内容の違い（料金、指導要綱、必要書類等）が統一されていません。訪問看護連絡協議会で統一したものをと希望がありましたが、千葉県の認可にて研修所任せのため困難です。十分内容を理解し、契約してください。

全国訪問看護事業協会では、これを踏まえ「わかりやすいパンフレット」作りをしているそうです。期待したいですね。

編集後記

長い間、千葉県訪問看護連絡協議会の広報「菜の花」を発行できず、申し訳ありません。2年間分の編集となりました。他にも原稿をお願いした方がいましたが、今回は研修会・講演会特集号となった関係で掲載を見送りました。次回号への掲載を検討しています。心よりお詫言申し上げます。

新規の事業所もたくさん出ていますので、今回はステーション紹介をしたいと思います。また、自主的にアピールしたい方、記事を書きたい方等ありましたら、是非原稿をお送りください。今後も継続できるように頑張りたいと思います。（表紙写真提供 泉山）

広報作成に協力して下さる方を募集中です。興味のある方はお声かけください！

『菜の花』はみなさんと一緒に作る会報誌です。
ご意見・ご感想・ペット自慢・ちょっとした写真 etc・・・
『菜の花』への投稿を、引き続き首を長くしてお待ちしております。

- 今回の記事作成に協力いただいたステーションは・・・
- あさひ訪問看護ステーション
 - みなみはま訪問看護ステーション
 - まちなのナースステーション八千代
 - さつき台訪問看護ステーション
 - 看護協会ちば訪問看護ステーション
 - 緑ヶ丘訪問看護ステーション
 - 千葉県看護協会
 - 訪問看護ステーションゆうこう (順不同)
- ありがとうございました！